



始動！、ハゼロウ女子会



ハゼの実ロウ復活委員会に若い力を…と参加者を募集していた『ハゼロウ女子会』が正式にスタート、18日の初顔合わせには福山、広島、周南、隣の平生町などから34～58才の女性7名がやってきた。近江和ろうそく“大興”の大西明弘さんも駆けつけてくれて感謝！。

自己紹介のあと、ハゼの実ロウの歴史や「なんで田布施で…?」、復活作戦スタート20年の取組などを話した。

女性に人気のあるものを…と15年も前に失敗を重ねながら独自に製品化した“ハゼロウクレヨン”をそっくりそのままパクられたニガ〜い経験談や“福蝋シリーズ”、ろうけつ染めなどを説明、サルマネせずオリジナル商品の開発を…と訴えた。



昼食は 女子会と大西さん、会員の林山さん、それに私の10名で本格手打ちうどん『克本店』へ。オーナーの田中克美さんとは一緒に復活委員会を立ち上げた仲なので彼も大喜び。“おいしいうどん”を堪能した。

午後からは実の選別からしぼりまでの一連の工程に初挑戦、しぼり作業はせえの〜せえの〜の黄色いかけ声が響き、みんな心地イイ汗を流した。この日の模様は中国・読売・周南新報の取材があり、掲載されて会員の励みとなった。

Facebookに『ハゼロウ女子会』のページも開設、次回は7月23日(日)の開催が決まり、活動計画などを話し合う。



箱入り登場！

ハゼの実ロウ復活委員会から箱入り和ろうそくが発売された。当面4号6本入り(写真左)と10号2本入り(写真右)の2種類。田布施産の生ロウを大興の大西さんが手がけ仕上げたもの。

価格は4号が税込2,600円、10号2,000円。これまでの袋入りと違って高級感あふれる化粧箱になった『たぶせ和ろうそく』。

サイズは4号：長さ150mm・上の直径14mm。10号：長さ180mm・上の直径20mm。ちょっとした手みやげやお盆の挨拶どうぞ。

